

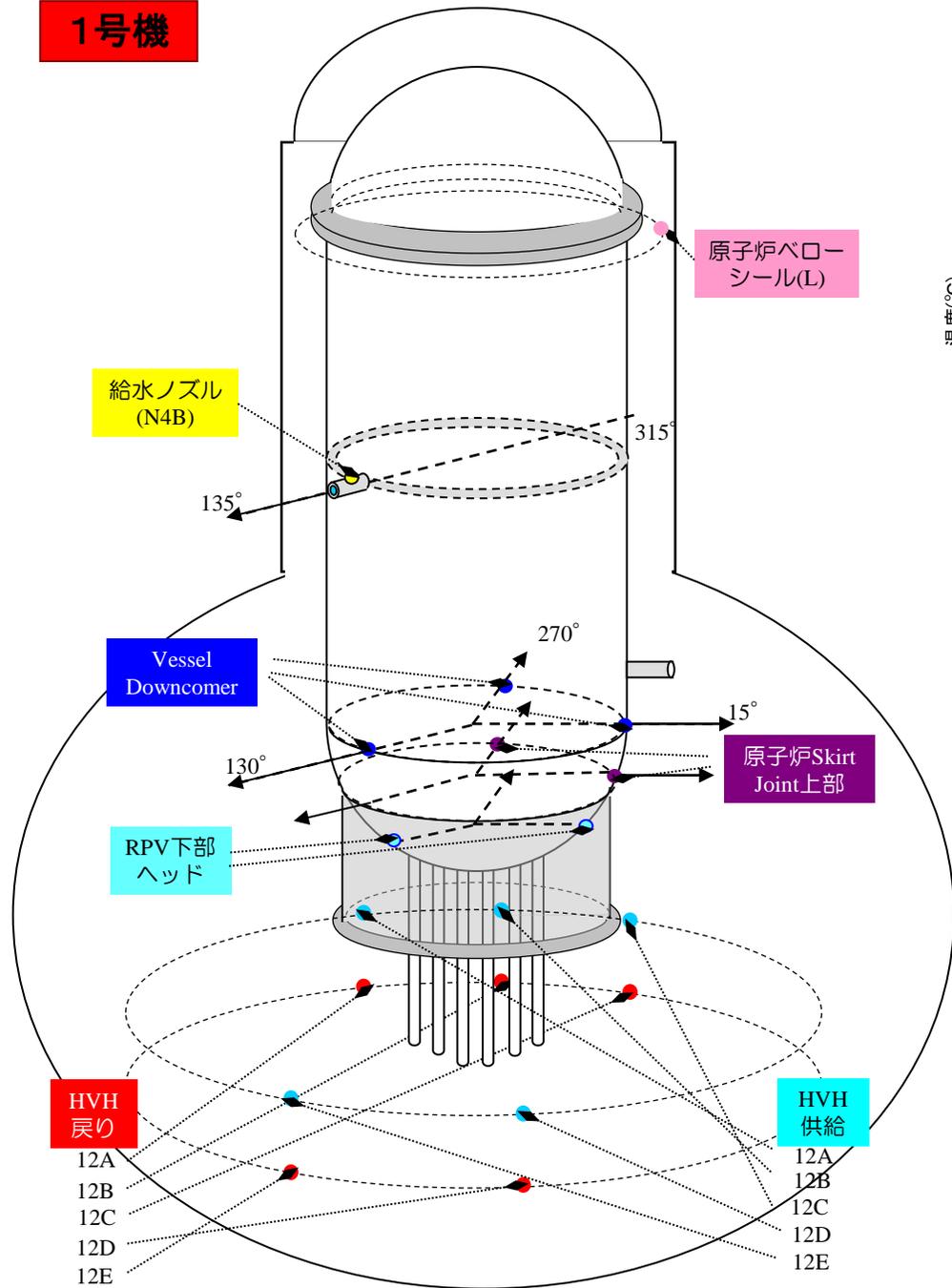
福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

号機	1号機		2号機		3号機		4号機	
	4月28日	5月27日	4月28日	5月27日	4月28日	5月27日	4月28日	5月27日
原子炉注水状況	給水系：2.4m ³ /h CS系：2.0m ³ /h (4/28 11:00 現在)	給水系：2.3m ³ /h CS系：2.0m ³ /h (5/27 11:00 現在)	給水系：1.9m ³ /h CS系：2.4m ³ /h (4/28 11:00 現在)	給水系：1.9m ³ /h CS系：2.5m ³ /h (5/27 11:00 現在)	給水系：2.1m ³ /h CS系：2.4m ³ /h (4/28 11:00 現在)	給水系：2.0m ³ /h CS系：2.3m ³ /h (5/27 11:00 現在)		
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：18.0℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：17.9℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：17.8℃ (4/28 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：21.7℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：21.5℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：21.5℃ (5/27 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：24.5℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：24.7℃ (4/28 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：28.4℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：28.9℃ (5/27 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：21.2℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：21.3℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：19.8℃ (4/28 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：25.1℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：25.1℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：23.8℃ (5/27 11:00 現在)		
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：18.1℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：17.7℃ (4/28 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：21.8℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：21.5℃ (5/27 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：26.1℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：24.6℃ (4/28 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：30.0℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2- 16B (TE-16-114G#1)：28.4℃ (5/27 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：20.5℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：19.3℃ (4/28 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：24.5℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：23.1℃ (5/27 11:00 現在)	-	-
原子炉格納容器 圧力	0.4kPa g (4/28 11:00 現在)	0.4kPa g (5/27 11:00 現在)	4.46kPa g (4/28 11:00 現在)	3.59kPa g (5/27 11:00 現在)	0.23kPa g (4/28 11:00 現在)	0.25kPa g (5/27 11:00 現在)		
窒素封入流量 ※1	RPV：27.93Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (4/28 11:00 現在)	RPV：28.19Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/27 11:00 現在)	RPV：15.66Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (4/28 11:00 現在)	RPV：15.66Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/27 11:00 現在)	RPV：16.69Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (4/28 11:00 現在)	RPV：16.69Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/27 11:00 現在)		
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (4/28 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (5/27 11:00 現在)	A系：0.05vol% B系：0.03vol% (4/28 11:00 現在)	A系：0.02vol% B系：0.03vol% (5/27 11:00 現在)	A系：0.04vol% B系：0.04vol% (4/28 11:00 現在)	A系：0.03vol% B系：0.04vol% (5/27 11:00 現在)		
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：8.80E-04Bq/cm ³ B系：1.13E-03Bq/cm ³ (4/28 11:00 現在)	A系：8.60E-04Bq/cm ³ B系：1.07E-03Bq/cm ³ (5/27 11:00 現在)	A系：ND(2.1E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.0E-01Bq/cm ³ 以下) (4/28 11:00 現在)	A系：ND(2.1E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.0E-01Bq/cm ³ 以下) (5/27 11:00 現在)	A系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) (4/28 11:00 現在)	A系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(3.0E-01Bq/cm ³ 以下) (5/27 11:00 現在)		
使用済燃料 プール水温度	20.0℃ (4/28 11:00 現在)	22.5℃ (5/27 11:00 現在)	18.6℃ (4/28 11:00 現在)	24.2℃ (5/27 11:00 現在)	17.3℃ (4/28 11:00 現在)	20.3℃ (5/27 11:00 現在)	16.0℃ (4/28 11:00 現在)	18.9℃ (5/27 11:00 現在)
FPC 及びマニピュ ル水位	3.02m (4/28 11:00 現在)	2.81m (5/27 11:00 現在)	3.91m (4/28 11:00 現在)	5.46m (5/27 11:00 現在)	3.13m (4/28 11:00 現在)	3.68m (5/27 11:00 現在)	24.99×100mm (4/28 11:00 現在)	25.20×100mm (5/27 11:00 現在)

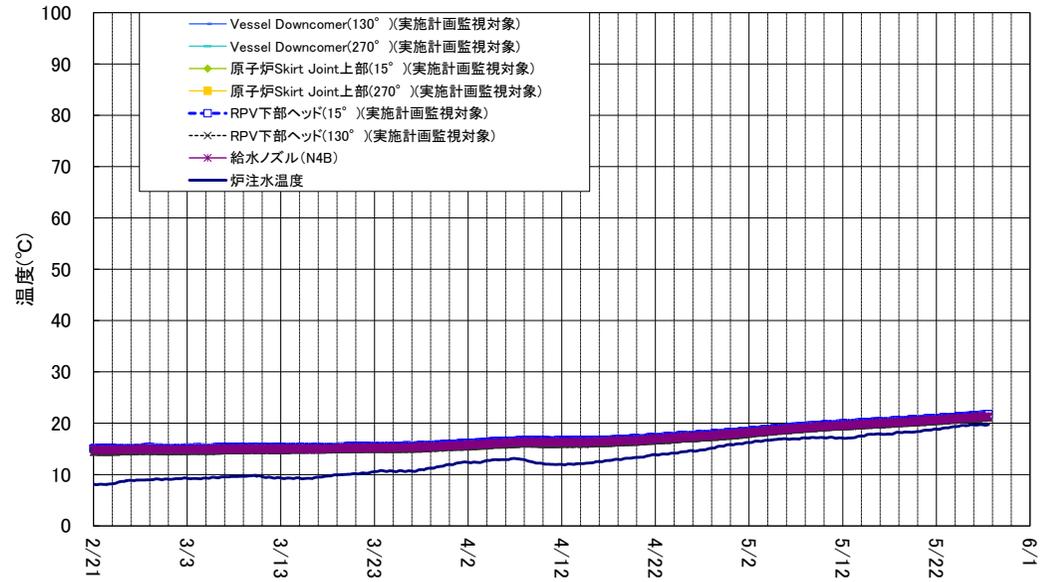
※1：使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。
 ※2：窒素封入停止中
 ※3：指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約15℃～約50℃で推移。
 格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

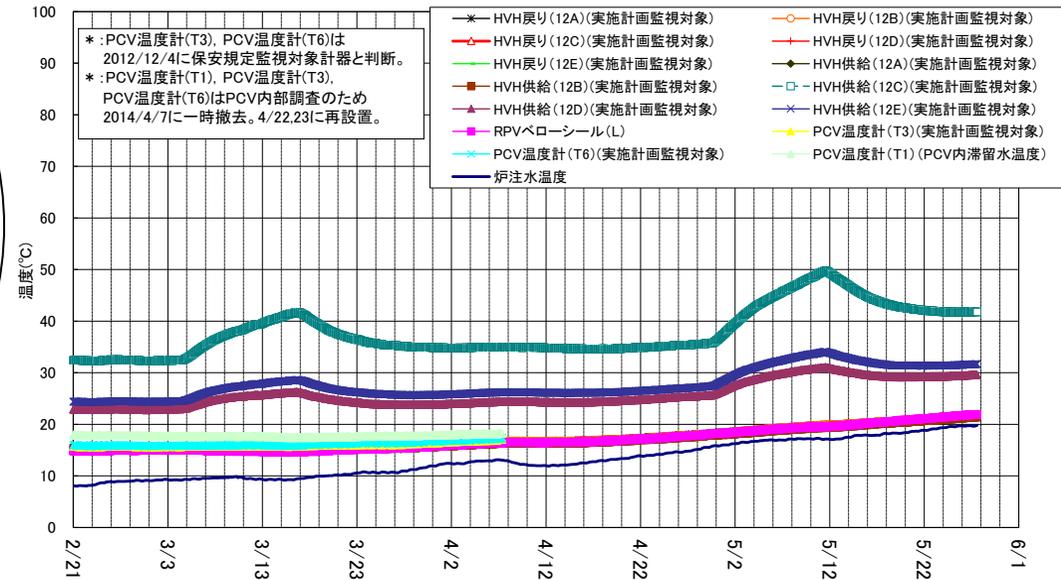
1号機



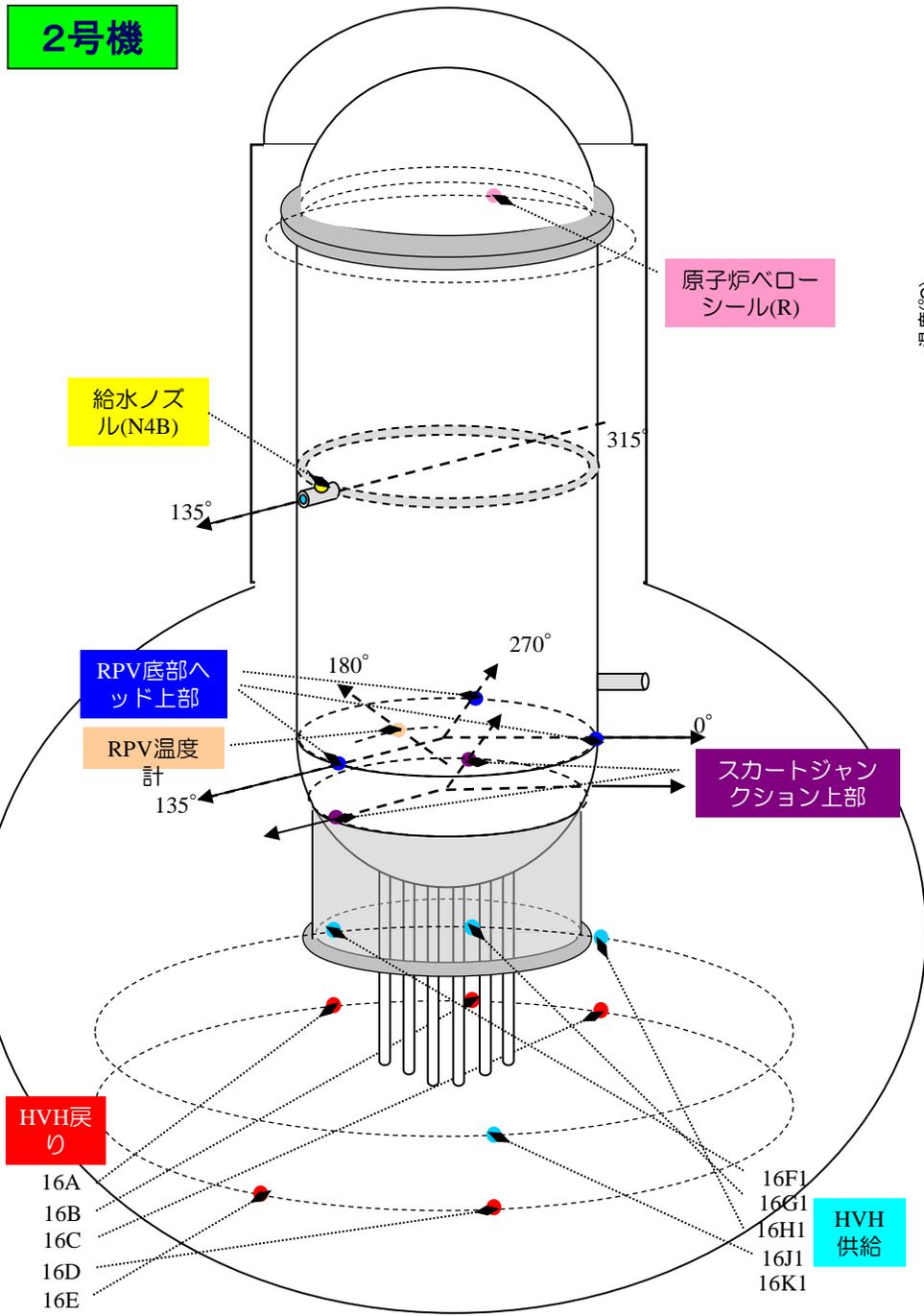
1号機 原子炉圧力容器まわり温度(2/21~5/27)



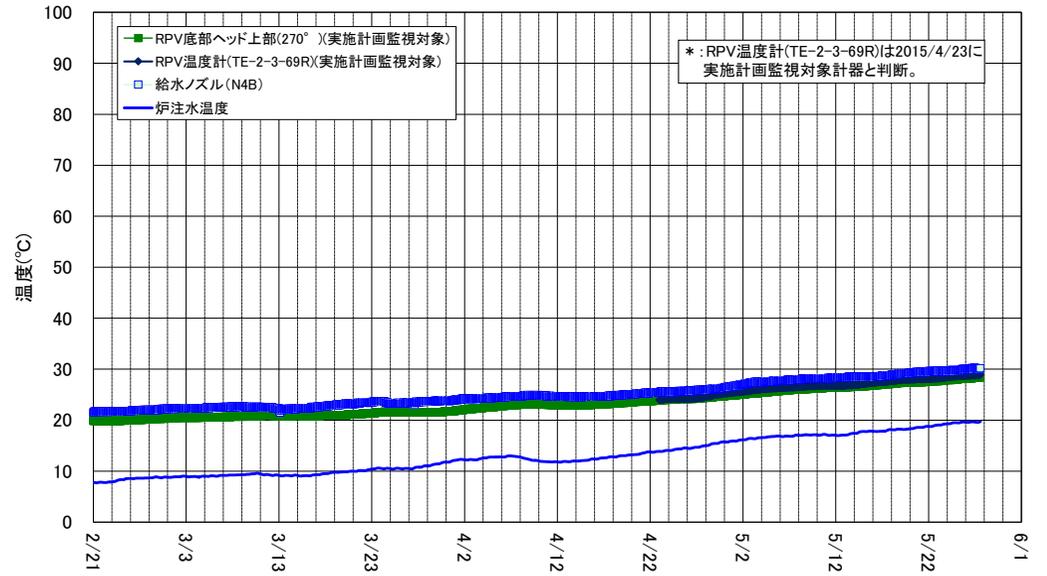
1号機 D/W雰囲気温度(2/21~5/27)



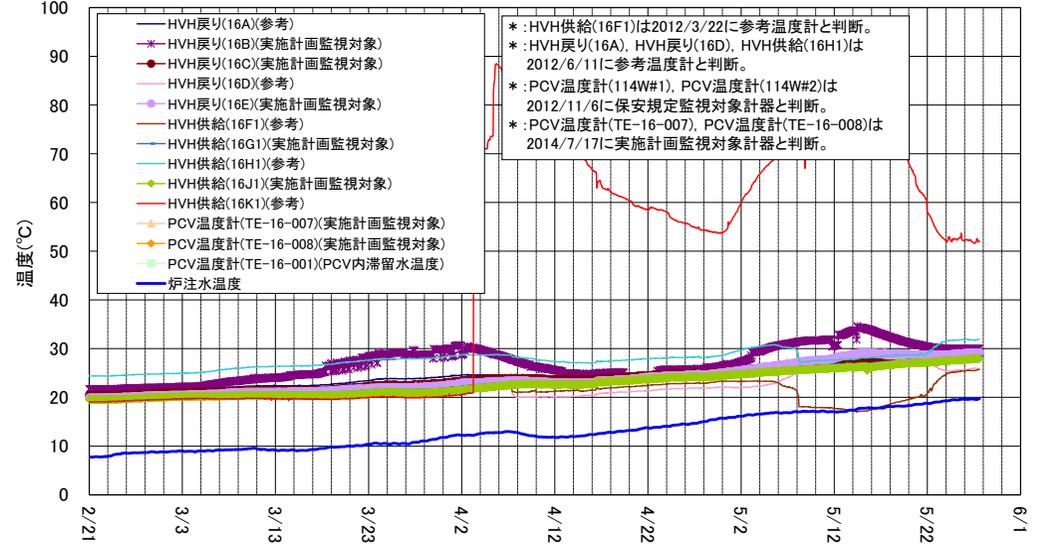
2号機



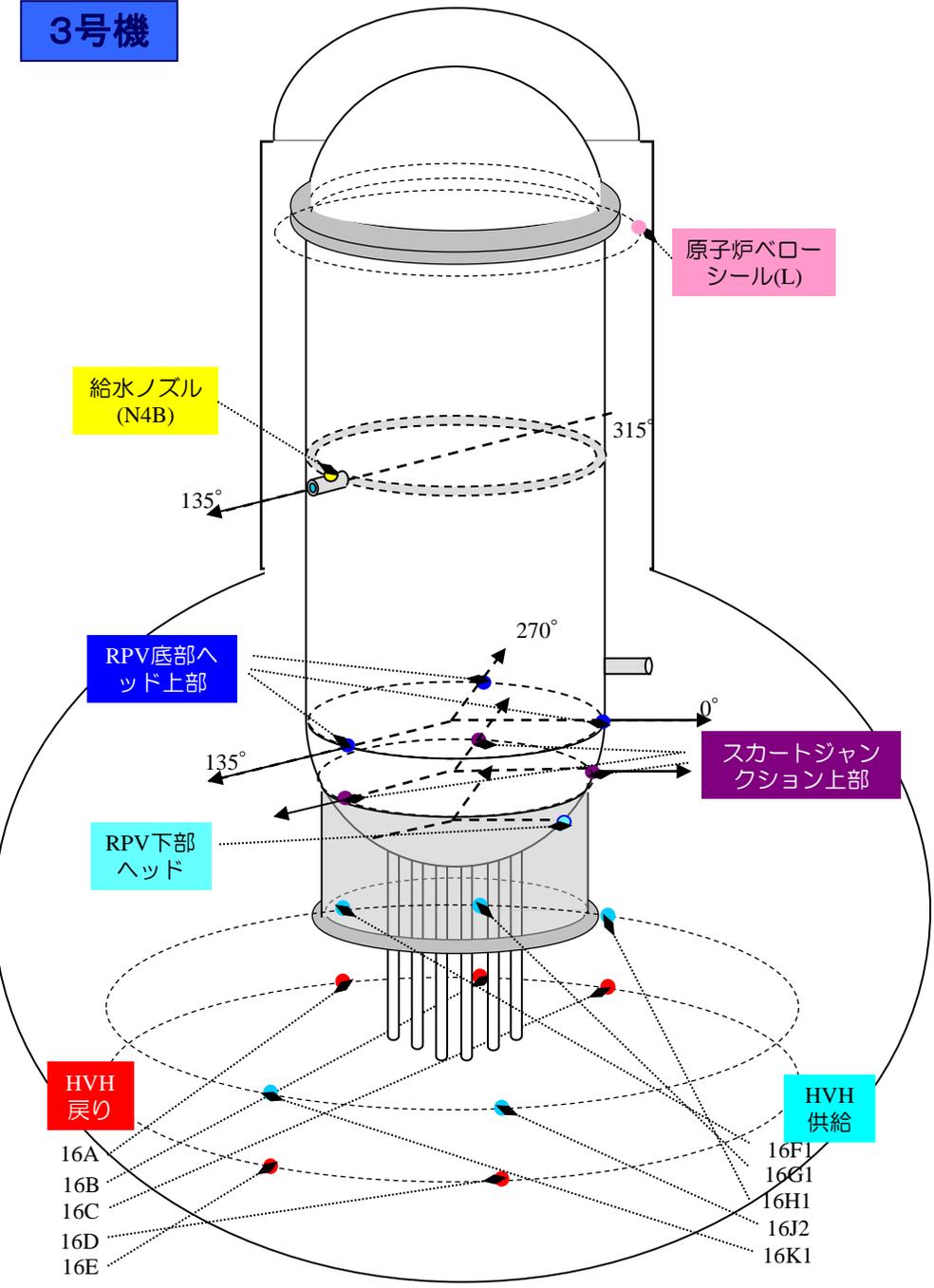
2号機 原子炉压力容器まわり温度(2/21~5/27)



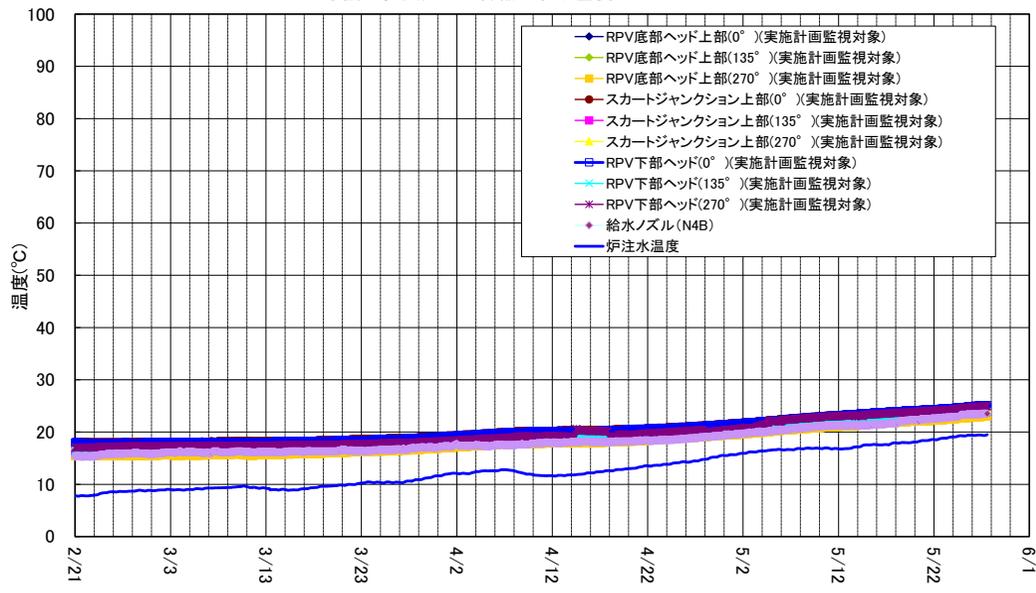
2号機 D/W雰囲気温度(2/21~5/27)



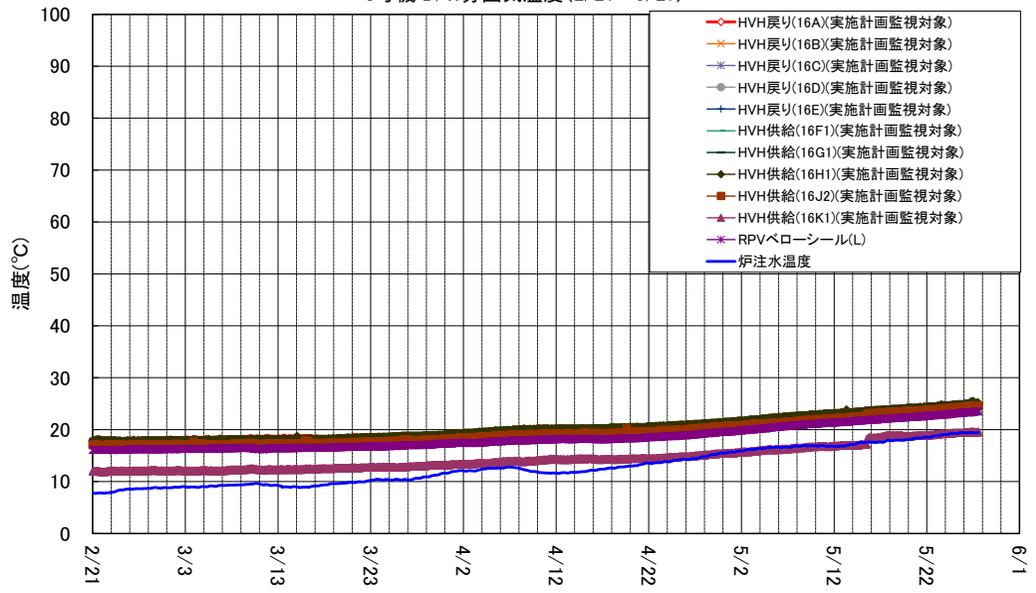
3号機



3号機 原子炉圧力容器まわり温度(2/21~5/27)



3号機 D/W雰囲気温度(2/21~5/27)



滞留水の貯蔵状況(5月21日時点)

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
 - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
 - ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②1~4号機タンク貯蔵量
 - ・淡水化装置による処理により、淡水及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
 - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5, 6号機滞留水貯蔵量
 - ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量
 - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

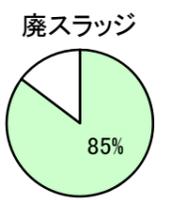
①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,400m ³	OP.2,438
2号機	約17,900m ³	OP.2,919
3号機	約19,200m ³	OP.2,903
4号機	約16,600m ³	OP.2,878
合計	約67,100m ³	

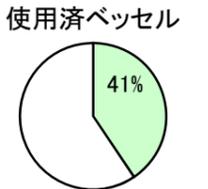
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約16,190m ³	OP.4,575
高温焼却炉建屋	約3,560m ³	OP.2,142
合計	約19,750m ³	

	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	723m ³	1,200m ³
SPT(B)	857m ³	3,100m ³

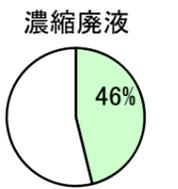
④廃棄物発生量



保管量:597/700[m³]*3

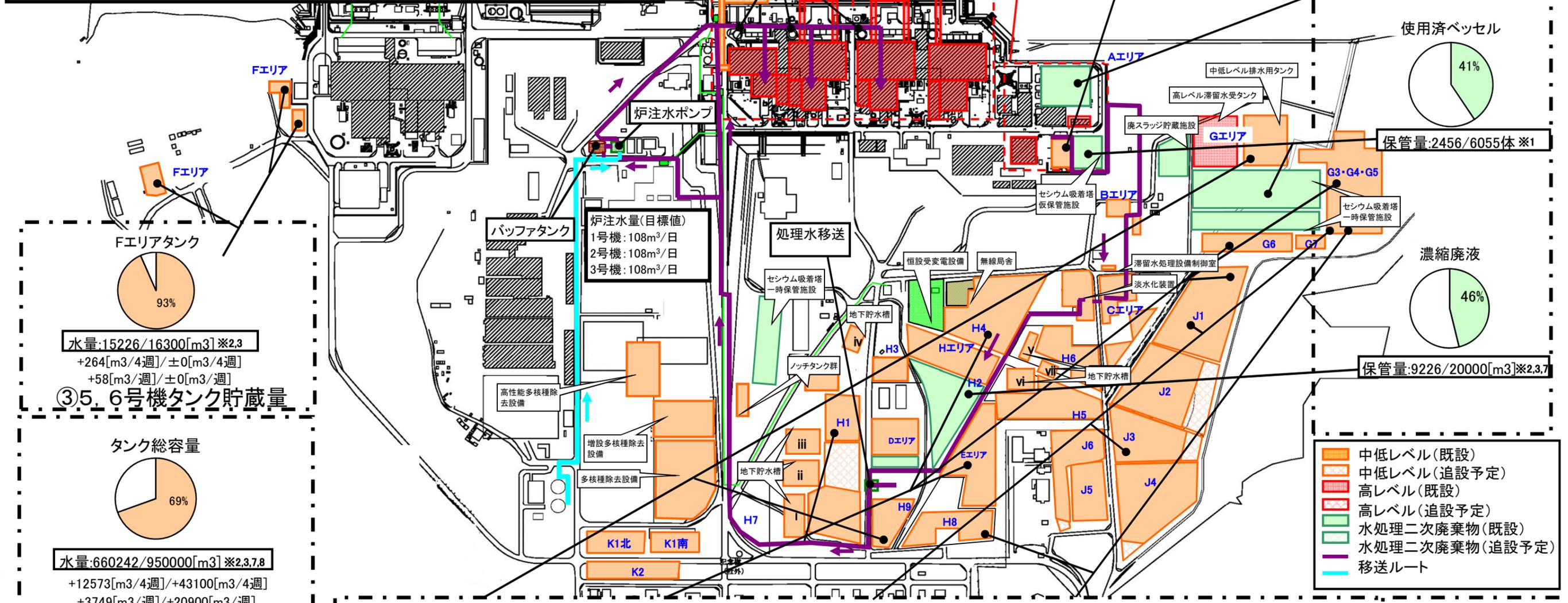


保管量:2456/6055体*1

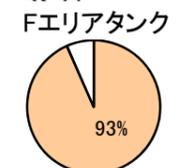


保管量:9226/20000[m³]*2.3,7

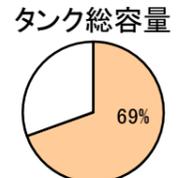
- 中低レベル(既設)
- 中低レベル(追設予定)
- 高レベル(既設)
- 高レベル(追設予定)
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 移送ルート



③5, 6号機タンク貯蔵量



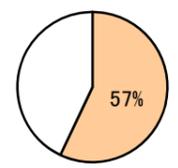
水量:15226/16300[m³]*2.3
+264[m³/4週]/±0[m³/4週]
+58[m³/週]/±0[m³/週]



水量:660242/950000[m³]*2.3,7,8
+12573[m³/4週]/+43100[m³/4週]
+3749[m³/週]/+20900[m³/週]

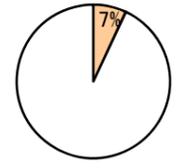
タンク貯蔵量合計(②+③)

②-a 淡水



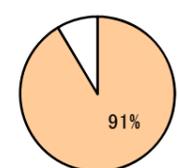
水量:15686/27500[m³]*2.3,7
-3385[m³/4週]/±0[m³/4週]
-1945[m³/週]/±0[m³/週]

②-b 濃縮塩水



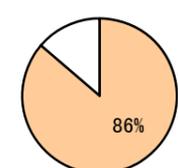
水量:15572/223400[m³]*2.3,7,8
-40329[m³/4週]/-20100[m³/4週]
-11707[m³/週]/±0[m³/週]

②-c 処理水 (多核種除去設備等処理済水)



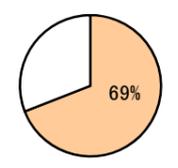
水量:434515/475100[m³]*2.3,4,6,7
+35815[m³/4週]/+35000[m³/4週]
+9895[m³/週]/+12900[m³/週]

②-d Sr処理水等



水量:179243/207700[m³]*2.3,7
+20208[m³/4週]/+28200[m³/4週]
+7448[m³/週]/+8000[m³/週]

1~4号機タンク総容量



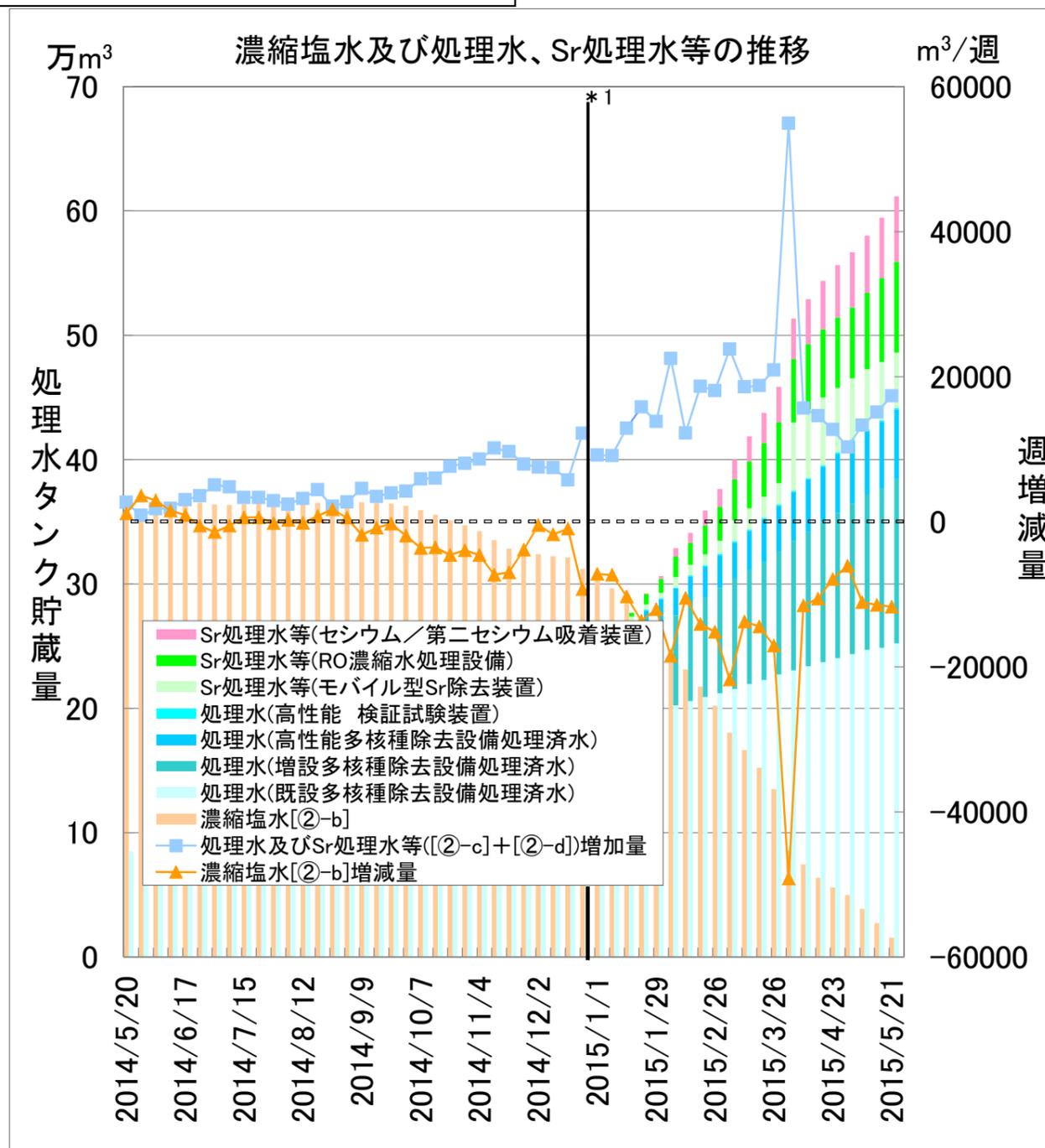
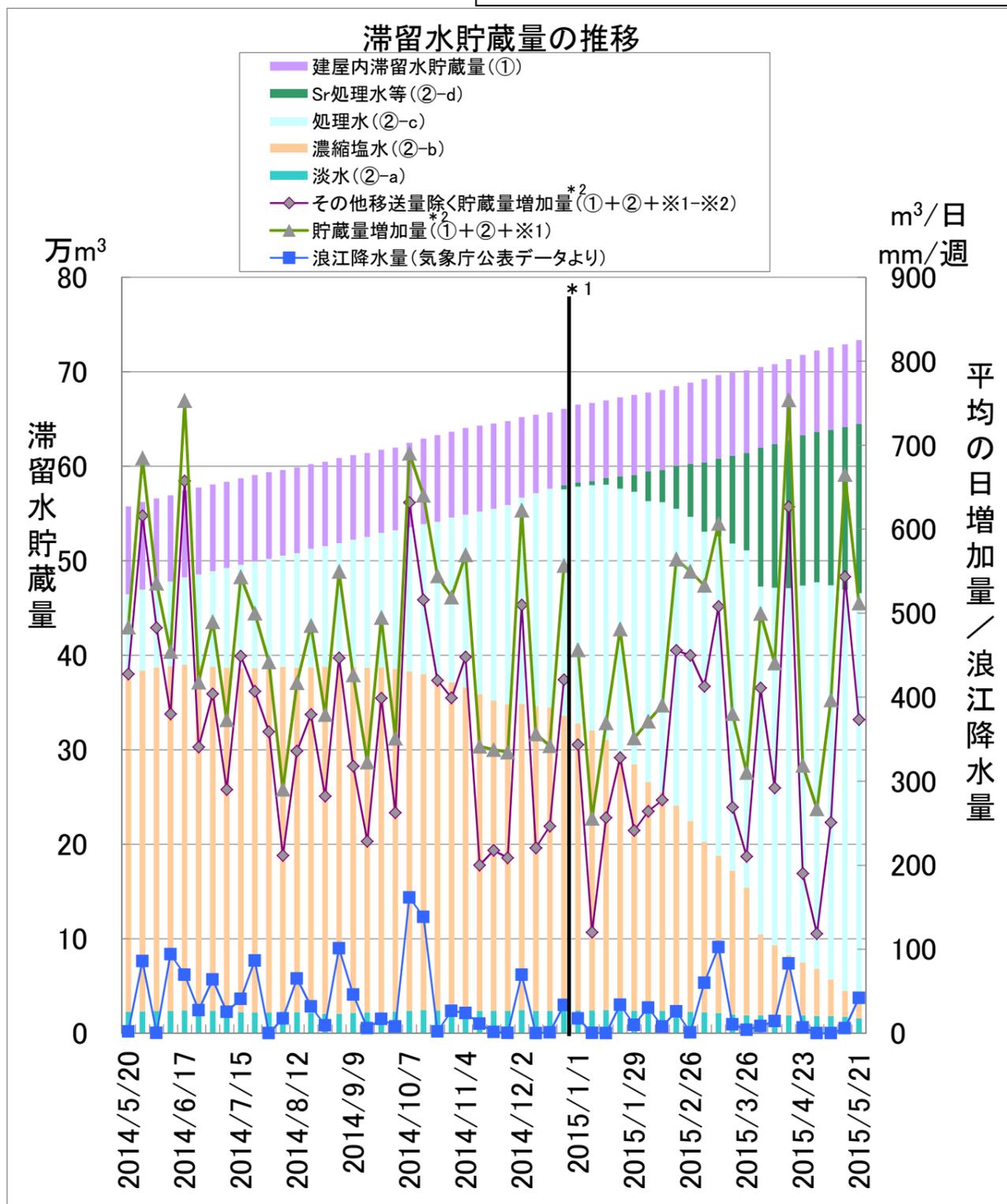
水量:約733446[m³]
+15784[m³/4週]*5,7,8
+4383[m³/週]

②1~4号機タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時的貯留量(*5月26日時点の値を記載)
・ノッチタンク群 約300(+100[m³])/約4900[m³]

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
 ※2 装置稼働中につき水位が安定しないため参考扱い
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
 ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
 ※5 ウェルポイント(約520m³/週)、2号機増設廃棄物地下貯蔵設備建屋から2号機廃棄物処理建屋(約160m³/週)の移送量約680m³/週を含む
 ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む
 ※7 貯蔵量に下記の「タンク底部〜水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。淡水約1,000m³、濃縮塩水約1,000m³、処理水約1,000m³、Sr処理水等約3,000m³、濃縮廃液約100m³。
 ※8 水抜き終了(残水処理中)のタンク群の「タンク底部〜水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。濃縮塩水約2,800m³。

滞留水の貯蔵状況の推移



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量([②-a淡水]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水等])

※1: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

※2: ウェルポイント汲み上げ量、海水配管トレンチへの氷投入量、多核種除去設備薬液注入量の合計

*1: 2015/1/1より集計日を変更(火曜日→木曜日)

*2: 2015/4/23より集計方法を変更(貯蔵量増加量(①+②)→(①+②+※1)、その他移送量除貯蔵量増加量(①+②-※2)→(①+②+※1-※2))

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日] ^{注1)}	[m3/日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	252,187	3,600	514	750以上
増設多核種除去設備	132,459	3,954	565	750以上
高性能多核種除去設備	55,831	2,341	334	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	累積Sr処理水等	期間処理水		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日] ^{注1)}	[m3/日]
RO濃縮水処理設備	72,938	5,491	784	500~900
セシウム吸着装置	52,819	4,248	607	600
第二セシウム吸着装置				1200
モバイル型Sr除去装置	Sr処理水等			
	[m3]			
	44,457			

注1) 週間の平均値

注2) 既設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

滞留水の貯蔵状況(4月23日時点)

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

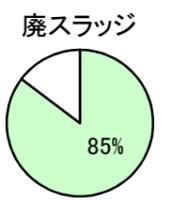
- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
 - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
 - ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②1~4号機タンク貯蔵量
 - ・淡水化装置による処理により、淡水及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
 - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5, 6号機滞留水貯蔵量
 - ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量
 - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

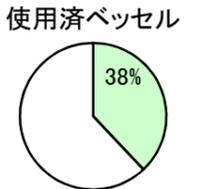
施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,700m ³	OP.2,670
2号機	約17,000m ³	OP.2,758
3号機	約18,000m ³	OP.2,731
4号機	約15,700m ³	OP.2,748
合計	約64,400m ³	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約14,860m ³	OP.4,196
高温焼却炉建屋	約4,210m ³	OP.2,676
合計	約19,070m ³	

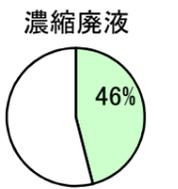
④廃棄物発生量



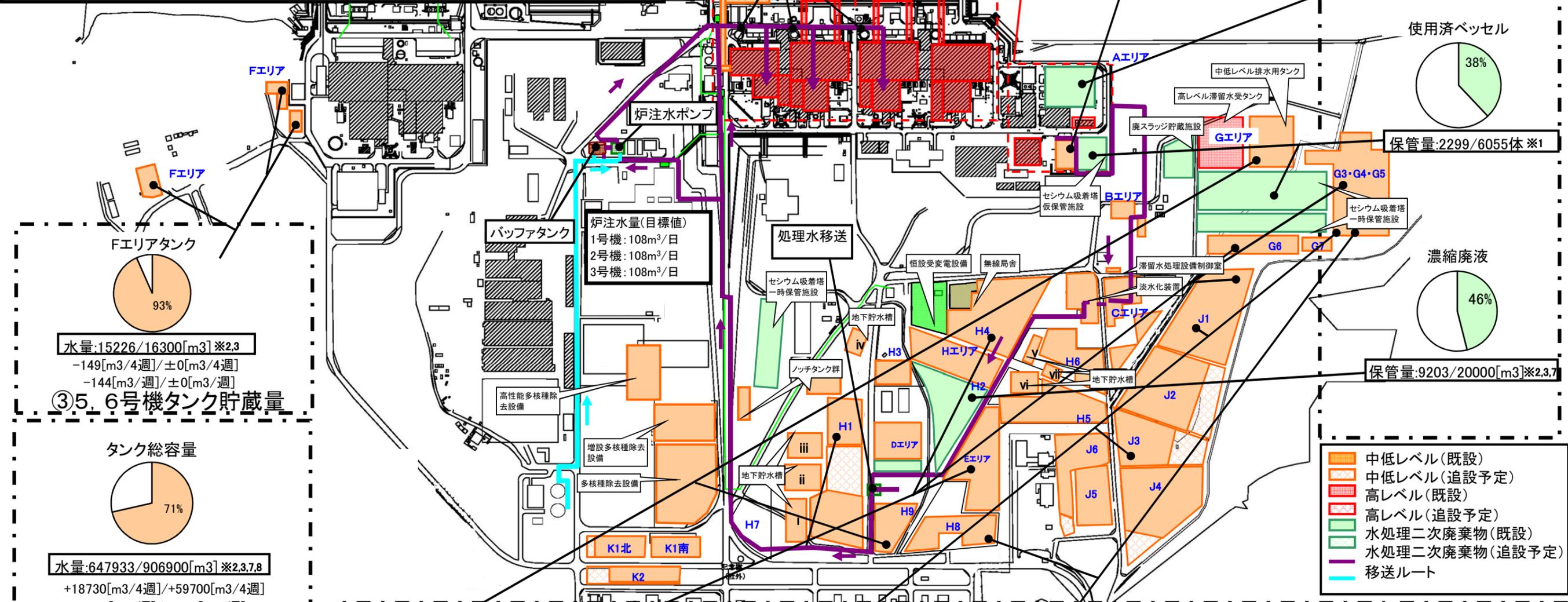
保管量:597/700[m³]*3



保管量:2299/6055体*1



保管量:9203/20000[m³]*2.3,7



Fエリアタンク

水量:15226/16300[m³]*2.3
-149[m³/4週]/±0[m³/4週]
-144[m³/週]/±0[m³/週]

③5, 6号機タンク貯蔵量

タンク総容量

水量:647933/906900[m³]*2.3,7.8
+18730[m³/4週]/+59700[m³/4週]
+4926[m³/週]/-3600[m³/週]

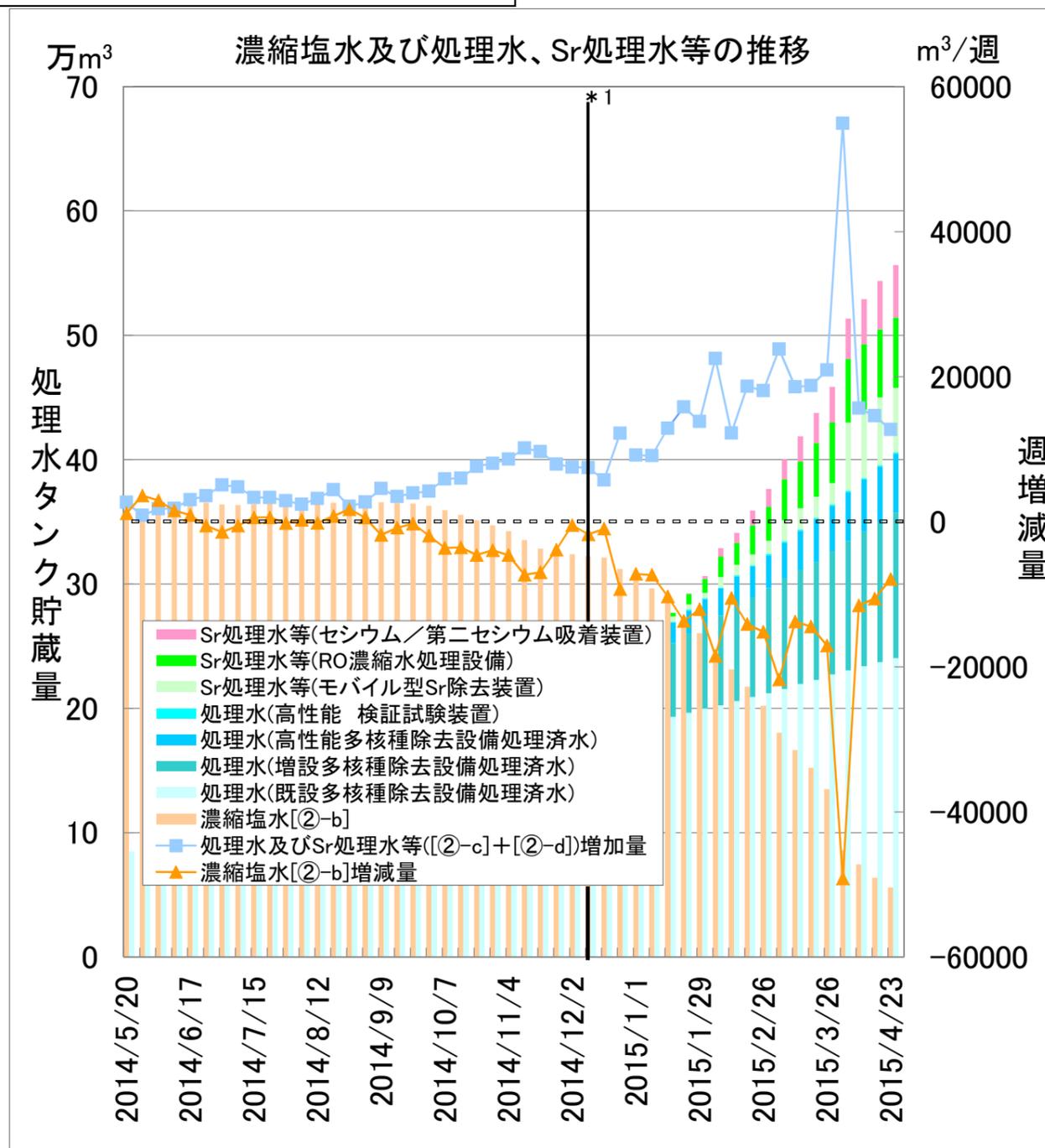
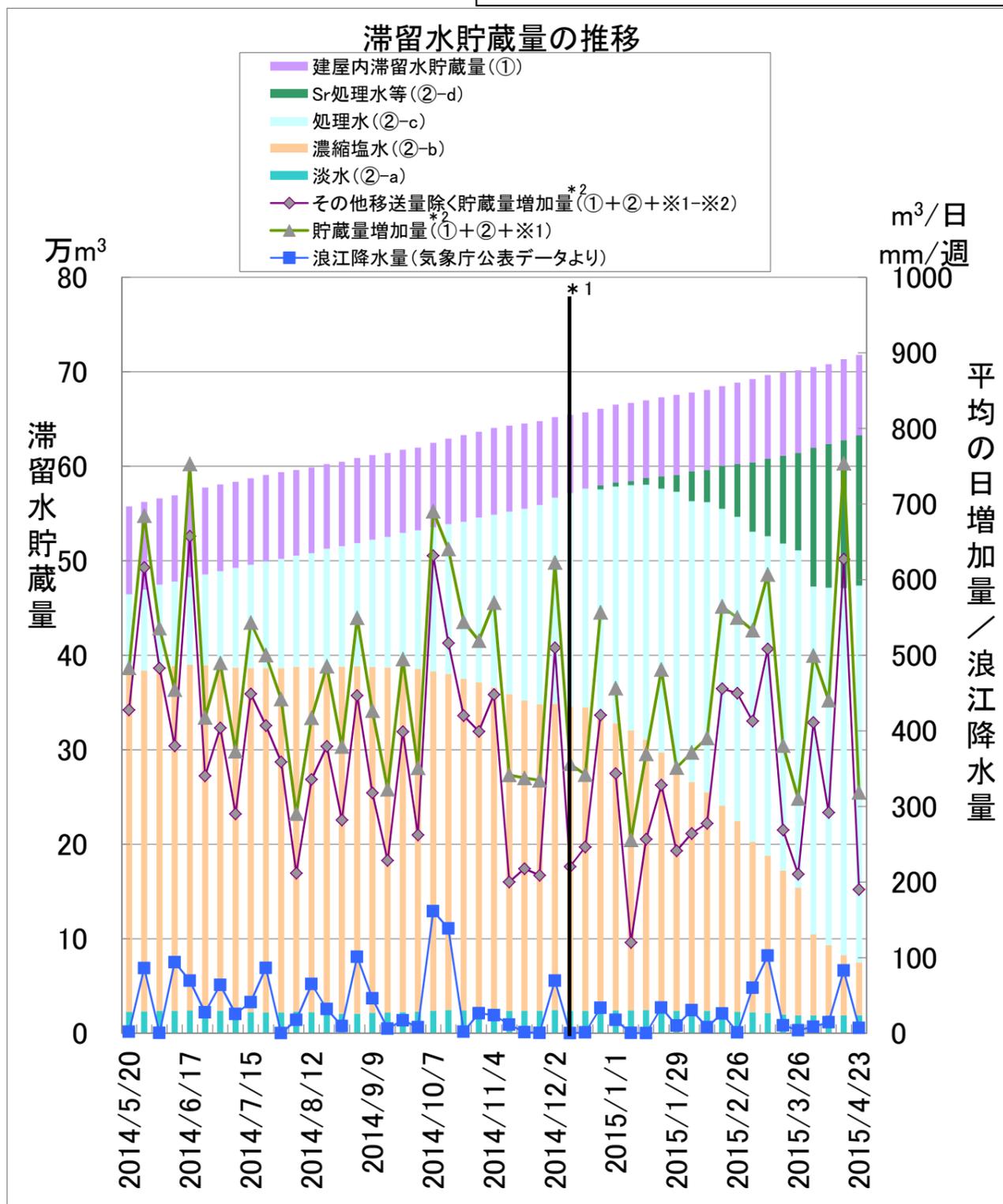
- タンク貯蔵量合計(②+③)**
- ※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
 - ※2 装置稼動中につき水位が静定しないため参考扱い
 - ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
 - ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
 - ※5 ウェルポイントの移送量約590m³/週を含む
 - ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む
 - ※7 貯蔵量に下記の「タンク底部～水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。淡水約1,000m³、濃縮塩水約4,000m³、処理水約1000m³、Sr処理水等約3000m³、濃縮廃液約100m³。
 - ※8 水抜き終了(残水処理中)のタンク群の「タンク底部～水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。濃縮塩水約2,700m³。

②1~4号機タンク貯蔵量

②-a 淡水	②-b 濃縮塩水	②-c 処理水 (多核種除去設備等処理済水)	②-d Sr処理水等	1~4号機タンク総容量
水量:19071/27500[m ³]*2.3,7 +173[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] +251[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	水量:55901/243500[m ³]*2.3,7.8 -79211[m ³ /4週]/-42800[m ³ /4週] -7909[m ³ /週]/-3600[m ³ /週]	水量:398700/440100[m ³]*2.3,4,6,7 +41690[m ³ /4週]/+59300[m ³ /4週] +10383[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	水量:159035/179500[m ³]*2.3,7 +56227[m ³ /4週]/+43200[m ³ /4週] +2345[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	水量:約717662[m ³] +16290[m ³ /4週]*5.7,8 +4431[m ³ /週] 建屋内貯蔵量 + 1~4号機タンク貯蔵量 (①+②) 水量:約632707/890600[m ³]*2.3,4,7 +18879[m ³ /4週]/+59700[m ³ /4週] +5070[m ³ /週]/-3600[m ³ /週]

タンク堰内水の一時的貯留量(*4月28日時点の値を記載)
・ノッチタンク群 約400(±0[m³])/約4900[m³]

滞留水の貯蔵状況の推移



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量([②-a淡水]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水等])

※1: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

※2: ウェルポイント汲み上げ量、海水配管トレンチへの氷投入量、多核種除去設備薬液注入量の合計

*1: 2015/1/1より集計日を変更(火曜日→木曜日)

*2: 2015/4/23より集計方法を変更(貯蔵量増加量(①+②)→(①+②+※1)、その他移送量除く貯蔵量増加量(①+②-※2)→(①+②+※1-※2))

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m³]	[m³/週]	[m³/日] ^{注1)}	[m³/日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	240,389	3,238	463	750以上
増設多核種除去設備	116,850	4,476	639	750以上
高性能多核種除去設備	47,423	2,669	381	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	累積Sr処理水等	期間処理水		定格処理量
	[m³]	[m³/週]	[m³/日] ^{注1)}	[m³/日]
RO濃縮水処理設備	56,512	1,694	242	500~900
セシウム吸着装置	42,124	3,271	467	600
第二セシウム吸着装置				1200
モバイル型Sr除去装置	Sr処理水等			
	[m³]			
	51,957			

注1) 週間の平均値

注2) 既設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

各エリア別タンク一覧

(2015年5月21日 現在)

1～4号機用汚染水貯蔵タンク

※下線部は前回報告からの変更点

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備考
B南	5	450	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
B北	15	300	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
C	26	40	鋼製角型タンク(溶接)	濃縮塩水	残水処理中
	52	40	鋼製角型タンク(溶接)	淡水	
C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
D	7	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
E	18	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(C)	
	31	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G1	72	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	淡水	
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	39	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C、R)	+10基RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用
	1	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用により10基減
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	残水処理中
G4南	14	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
	3	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	3基の内、2基は使用時期未定
G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G5	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G6北	19	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	漏えいが確認されたため、1基使用停止 20-1=19
G6南	18	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	41	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・高性能・増設)	
H1東	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H2北	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H2南	11	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H3	10	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	フランジ継ぎ手部に高線量箇所が確認されたため、使用停止していた2基の内、1基について、H3エリアタンクの水抜き期間中連結して再使用。 11-1=10
H4	20	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H4東	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H4北	21	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	漏えいが確認されたこと等から、2基撤去済み 23-2=21 残水処理中
H5	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
	23	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H6	24	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C、R)	
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J1	64	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
	26	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(A, C)	+9基RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用
	8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	RO濃縮塩水用からSr処理水等用に転用により9基減 残水処理中
J2	31	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	15	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J4	29	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	36	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K2	28	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
ALPS	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高ALPS	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増ALPS	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
合計	953			Sr処理水等内訳 C: センウム吸着装置等、M: モバイル型ストロンチウム除去装置等 R: RO濃縮水処理設備、A: 多核種除去設備等	

濃縮廃液

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	100	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

高濃度滞留水受けタンク

G1	28	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	高濃度滞留水	非常用の受けタンクであり、現在未使用
----	----	-----	-------------------	--------	--------------------

5, 6号機用汚染水貯蔵タンク

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク
合計	49				

(参考)

地下水バイパス用タンク

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--

「滞留水の貯蔵状況」の保有水量の記載について

- 「滞留水の貯蔵状況」において、「②1～4号機タンク貯蔵量」の水量は、タンク水位計0%以上を保有水量として評価している。（タンク水位計0%以下の水量は注記として記載）
- 滞留水貯蔵量の週間増加量（左側グラフ：▲、◆）はこれまで水位計0%以上の変化分をもとに算出していたが、至近では、タンクの残水を処理し、別タンクに移送しているため、水位計0%以下の移送量を含めた週間増加量の評価となってしまう。
- 地下水流入等による実質的増加量をより正しく把握するために、4/23以降、タンク水位計0%以下の移送量を差し引いて週間増加量を算出することとした。

